

令和3年度 レギュラトリーサイエンス分野教科担当教員会議 議事録

【日時】令和4年1月27日(木) 13時30分～17時00分 (オンライン会議)

【場所 (zoom ホスト)】武蔵野大学武蔵野キャンパス

【出席者】全国の大学薬学部及び薬系大学 68校から教員 81名、その他講師等 7名参加

【プログラム】

<テーマ> 医薬品の安定供給と品質確保に関する薬学教育：講演と意見交換

13:30～13:40 開会の挨拶 堅田利明 (武蔵野大学薬学部 薬学部長・教授)

13:40～14:40 講演1 「医薬品の安定供給に関する最近の対応と今後の課題」

田中大祐 (厚生労働省医政局経済課 課長補佐)

14:40～15:30 講演2 「医薬品の安全確保・安定供給」

安部好弘 (公益社団法人日本薬剤師会 副会長)

15:30～15:45 休憩

15:45～16:45 講演3 「改正 GMP 省令の浸透と品質文化の醸成の観点からの薬学教育について」 蛭田修 (熊本保健科学大学 教授)

16:45～17:00 次期開催校、連絡事項

17:00 閉会

【資料】

1. 令和3年度レギュラトリーサイエンス分野教科担当教員会議次第
2. 「医薬品の安定供給に関する最近の対応と今後の課題」資料
3. 「医薬品の安全確保・安定供給」資料
4. 「改正 GMP 省令の浸透と品質文化の醸成の観点からの薬学教育について」資料

【会議内容】

1. 武蔵野大学 堅田利明薬学部長より開会の挨拶があった。
2. 昨年度の教科担当教員会議での議論及び教員アンケートにおける意見として、医薬品の品質に関する人材育成の強化や薬学部の授業等で使用可能な公開資料・教材の必要性が挙げられたこと、また GMP 違反を契機とした医薬品の回収・出荷停止に伴う多品目の医薬品供給不足が医療現場に大きな影響を与え社会的問題となっていることを踏まえ、「医薬品の安定供給と品質確保に関する薬学教育」をテーマに、行政、医療現場

及び大学教育の立場からの講演と意見交換を行った。

- ① 厚生労働省の田中大祐氏より「医薬品の安定供給に関する最近の対応と今後の課題」とのタイトルで、安定供給調整の確保が必要となってきた経緯、安定確保策に関する厚生労働省関係者会議を実施した理由と検討結果、問題事案・事故への対応や課題等について講演いただいた。(資料 2)
- ② 日本薬剤師会の安部好弘氏より「医薬品の安全確保・安定供給」とのタイトルで、医療用医薬品の安定確保策に関する会議構成員の立場から、「安定確保医薬品」の紹介及び医薬品製造・流通のサプライチェーン体制を支える施策構築の必要性、また薬局経営及び薬剤師の観点から、安定確保医薬品という新たな医薬品定義の趣旨の理解及び適正使用や節度ある医薬品流通に取り組む必要性について講演いただいた。(資料 3)
- ③ 熊本保健科学大学の蛭田修氏より「改正 GMP 省令の浸透と品質文化の醸成の観点からの薬学教育について」とのタイトルで、日本製薬団体連合会品質委員会での活動(実例)や品質保証・精度管理学共同研究講座での教育経験を踏まえ、製薬企業における薬剤師の貢献、改正 GMP 省令の概要と医薬品製造業・製造販売業における品質文化、品質確保に関わる業務を担える人材育成と薬学部での教育について講演いただいた。(資料 4)  
各講演の座長は、講演 1 では東京薬科大学・益山先生、講演 2 では武蔵野大学(世話人)、講演 3 では東京理科大学・鹿野先生が務めた。
3. 講演で紹介された視聴用教材を用いた授業の様子と受講した学生の感想やコメント、昨年度の教科担当教員会議の質疑応答で言及された E-ラーニングコンテンツの紹介があり、希望者は後日デモ版を視聴していただいた。
4. 次回開催校・世話人の立命館大学薬学部 細木るみこ教授より挨拶があり、閉会した。

(世話人・記録者：武蔵野大学薬学部 永井)